

【対象：心臓カテーテル検査で入院された患者様へのお知らせ】

当院では、近畿大学医学部奈良病院倫理委員会の承認を得て、「冠動脈造影検査施行患者における脂肪酸分画についての臨床研究」を行います。

ω -3系の不飽和脂肪酸（EPA や DHA）が高いほど冠動脈疾患（狭心症・心筋梗塞）になりにくいという報告がありますが、EPA、DHA のどちらが予防的に貢献しているのかは、まだよくわかっていません。そこで本調査研究では、冠動脈造影検査で入院された患者様の入院前に採取した血液中の脂肪酸分画を分析し、上記不飽和脂肪酸のレベルを調べて冠動脈病変との関連を見いだすことを目的としています。

対象は、冠動脈造影検査のために当院に入院した患者様です。

調査方法は、心臓カテーテル検査前の予備検査として得られた血液検体を用いて脂肪酸分画を分析し、カルテおよび血管造影の記録から関連する臨床的因子を知るため、統計的解析を用いて後ろ向きに分析します。

当院での調査期間は2010年9月から2025年3月までの予定です。

1. 本研究は治療に関する介入はなく、個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。血液検査は入院前に通常行われている検査であり、費用は医療保険の範囲で行われます。
2. 試験への不参加や、参加取りやめを希望される方は下記までご一報くださいますようお願いいたします。情報は削除されます。

問い合わせ先：近畿大学医学部奈良病院 循環器内科 教授 城谷 学

TEL：0743-77-0880

FAX：0743-77-0890